

令和2年度 国立中央青少年交流の家

## 教員免許状更新講習【選択領域】

～学校教育における体験活動の効果的な進め方～

令和2年10月3日(土)・4日(日) 0泊2日



### ○趣旨

主体的・対話的で深い学びを一層進めていくことを目指して、体験活動の意義を確認するとともに、それらを効果的に用いる方法について理解を深める。また、受講者自身がそれぞれ抱えている現状や課題を出し合い、共有し合うことで、新たな気づきや学びの機会とする。

### ○参加者

幼・小・中・高・特支教諭，その他 計33名

### ○事業の内容

#### (1)「教育の現状と課題」

講師：御殿場市教育委員会 教育長 勝亦 重夫 氏



教育をめぐる現状や課題とともに、国や県・御殿場市の教育政策について理解を深めた。中でも不登校への取組や、ICT教育の推進、校種間の滑らかな接続など求められていることを理解した上で、自身は教職員として何を指すのかを、考える機会となった。

#### (2)「仲間づくり・アイスブレイクの指導法」

講師：国立中央青少年交流の家 企画指導専門職 土屋 貴弘

学級開きの時やグループ作りに効果的なアイスブレイクの指導法を、実習を通して考えた。また、1時間の実習で、受講者間のアイスも壊れ、その有効性を体感することができた。



#### (3)「アクティブラーニングを促す仕掛けづくり」

講師：東京学芸大学附属世田谷小学校 教諭 沼田 晶弘 氏

子どもとの信頼関係を築いていくポイントや、主体的に行動するためのシステムづくりの工夫など、講師の紹介する魅力的な実践例から、児童・生徒が自ら課題に気づき、その解決に向けて夢中になって取り組む態度や技能を養うための指導法について理解を深めた。



#### (4)「体験活動と安全教育」

講師：岐阜女子大学 教授 井上 透 氏

体験活動で起こり得るリスクについて実際のデータを通して学ぶことにより、リスクの仕組みを理解し、それらのデータや事例から教育現場におけるリスクマネジメント・リスクコントロールについての考えを深めた。



#### (5)『「キャンドルのつどい」の進行とレク指導』

講師：静岡福祉大学 非常勤講師 田井中 正志 氏

学校の集団宿泊活動で人気の高い夜のプログラムである「キャンドルのつどい」の具体的な進め方と、様々な場面で使えるレクリエーションの内容や指導方法を学んだ。特に新型コロナウイルス感染症対策を考慮したレクリエーションは、大変参考になるものであった。

## (6)「SDGsと学校教育」

講師：国立中央青少年交流の家 企画指導専門職 市川 大

ESDやSDGsに対する理解を深めるとともに、それらを教育に取り入れていく方法を研修した。学校や教育機関の実践例を参考にし、各自の勤務先でどのように取り入れていくかを考える機会となった。



## (7)「野外炊事の指導法と、防災教育の充実化」

講師：国立中央青少年交流の家 企画指導専門職 土屋 貴弘  
企画指導専門職 長谷川 賢

基本的な野外炊事の方法や、災害時に役立つ調理法の実習や紹介を行い、防災教育の充実を図る指導方法を学んだ。また、「目黒巻」や「クロスロード」等を通して、実際の災害現場をイメージすることにより防災コンピテンシーを高める指導法の紹介や実習を行った。



## (8)「学校教育における体験活動」

講師：國學院大學 教授 杉田 洋氏

体験活動の充実が求められている背景、新しい学習指導要領で重要とされている体験活動の内容とその教育的意義、言語活動と体験活動の関連について研修した。また、異年齢集団による触れ合いや、学級が子供たち同士の関わりによって成長していく様子などが映像やスライドで取り上げられ、感動して涙ぐむ受講者も見られた。

## 《事後アンケートより》

### 【講習会の運営面や職員の対応について】 満足度：4段階評価で3以上100%

- ・細かなところまですごく丁寧に、気を遣っていただいて、勉強に来ていることを忘れてしまいそうになることもありました。楽しく2日間を過ごせたことに感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・進行もスムーズで、流れも良く、楽しんで学ぶことができました。座って学ぶだけでなく、体を動かしながら体感するなど、子どもたちの気持ちも学ぶことができました。
- ・初対面の方とうまくやっていけるか不安もありましたが、初日の午前中に楽しい気持ちになりました。スタッフの皆さんのおかげだと感謝しています。
- ・コロナ禍で運営も大変だったと思いますが、換気や検温、アルコール消毒液など対策をしっかりとってくださっていたので、安心して研修に参加することができました。

### 【講習会全体を通して】 満足度：4段階評価で3以上100%

- ・とても勉強になりました。自分の取組を振り返ることができました。この講習で学んだことを掘り下げ、日々の勤務に活かしていきたいです。
- ・充実した講師陣で、レベルの高さを感じた。単なる講習会を遥かに上回った。
- ・普段の研修や出張では学べない内容が多く、免許更新という機会にこの講習を受けることができ良かったです。
- ・宿泊ができたらもっと交流が深められたと思うと、そこだけが残念です。

## 《成果と課題》

- 経験豊富な外部講師の協力を得られたおかげで、参加者から高い満足度を得ることができた。
- 講義と実習をバランスよく構成し、実践的な講習プログラムを数多く取り入れたことによって、学校現場で取り入れやすいプログラムとして紹介することができた。
- 講習の序盤に、研修としてアイスブレイクの実習を行ったことで、参加者の緊張をほぐし、やる気を引き出すことができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、日程を含め変更を余儀なくされたが、感染対策を徹底して行うことができ、参加者にも安心して研修に取り組んでもらうことができた。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、宿泊なしで開催したが、参加者からは「宿泊して参加者同士の学び合いの場をより多く持ちたかった」という意見が多数あった。